

認知症になっても地域で生きる

団塊の世代が75歳以上になる2025年には、認知症の人の数が700万人を超え、65歳以上の高齢者のうち5人に1人が認知症になることが予想されています。

認知症の人を支えるには医療や介護の専門家だけでなく、その地域に暮らしている住民の力が必要です。住み慣れた地域での生活を続ける為にはどうすればいいのか、みんなで一緒に話し合いましょう！

日程 : 平成30年2月16日(金)
14:00~16:00

場所 : 小山市民センター 1階ホール

※当日はなるべく公共交通機関の利用または車の乗り合わせにてご来場下さい。

講師 : 認知症疾患医療センター 副センター長
奥村 武則医師 (鶴川サナトリウム病院精神科/老年精神科)

医学博士 精神保健指定

日本精神神経学会 精神科専門医・指導医/日本老年精神医学会認知症専門医・指導医

日本精神科医学会認知症臨床専門医/認知症サポート医

申し込み先

町田市堺第2高齢者支援センター TEL:042-797-0200

※平成30年2月9日(金)締め切り

